

指針第1号様式

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和6年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,298	t-CO ₂
①を （温室除く 二酸化炭素 換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		2,298	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和9年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	2,298	t-CO ₂	2,229	t-CO ₂	3.0

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和9年度 目標削減率	
	原単位当りの 排出量	0.1104	t-CO ₂ / m ²	0.1071	t-CO ₂ / m ²	3.0

(2) 目標設定の考え方

C02排出量を1年1%削減する。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当りの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度を適正化する ・冷暖房時間を短縮する ・空調フィルターの掃除など効率のよい運転のための点検・保守管理を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房28度、暖房22度を徹底 ・廊下など共用部分の空調停止 ・フィルターの効率保守
省エネルギー・省資源行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みや残業時には不必要な照明を消し、必要な場合にはスポット照明にする ・館内照明のLED化工事の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み中照明オフの徹底 ・長時間点灯箇所から計画
省エネルギー・省資源行動の実践・OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやコピー機を使用しない時は主電源を切り、待機電力を削減する。 ・パソコンやコピー機を導入するときは、省エネルギー型のものを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンのこまめな電源オフ ・省エネモードの徹底 ・パソコン省エネタイプの選定
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィス古紙を分別回収し、リサイクルする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル紙の分別
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水の貯水タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの排水など、雨水などの雑用水を使用

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	%

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

--

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

<ul style="list-style-type: none">・従業員への環境教育を進める・ゴミ分別をさらに徹底する・グリーン購入比率をさらに高める。・ハイブリッド車など環境にやさしい車の選定
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

<ul style="list-style-type: none">・空調の効率化に努める。館内温度の巡回調査。
--